

2019年度第2四半期 決算説明

－ 2019年1月～6月 －

2019年8月9日

株式会社 CAC Holdings

- I . 2019年度上期 決算概況
- II . 2019年度下期の見通しと
通期業績について

I . 2019年度上期 決算概況

連結業績概要（前年同期比）

単位：百万円

	2018年2Q	2019年2Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	25,440	26,251	+810	+3.2%
売上総利益	5,077	5,229	+152	+3.0%
(対売上比)	20.0%	19.9%	0pt	
販管費	4,542	4,391	▲150	▲3.3%
営業利益	534	837	+302	+56.6%
(対売上比)	2.1%	3.2%	1.1pt	
経常利益	477	810	+333	+69.9%
(対売上比)	1.9%	3.1%	1.2pt	
特別利益	360	3	▲357	▲99.0%
特別損失	161	—	▲161	—
四半期純利益	283	438	+155	+54.7%
(対売上比)	1.1%	1.7%	0.6pt	

- ・ CRO事業が減収となったものの、国内IT事業、海外IT事業が堅調のため増収
- ・ 増収に加え、販管費の圧縮などから増益

セグメント別売上高・営業利益（連結）

単位：百万円

売上高

	2018年2Q		2019年2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	14,362	56.5%	16,204	61.7%	+1,842	+12.8%
海外IT	5,412	21.3%	5,902	22.5%	+489	+9.0%
CRO	5,665	22.3%	4,144	15.8%	▲1,520	▲26.8%
合計	25,440	100.0%	26,251	100.0%	+810	+3.2%

営業利益

	2018年2Q		2019年2Q		前年同期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
国内IT	282	2.0%	859	5.3%	+576	+204.2%
海外IT	▲186	-	87	1.5%	+273	-
CRO	439	7.8%	▲108	-	▲547	-
合計	534	2.1%	837	3.2%	+302	+56.6%

※ 売上高は、外部顧客への売上高を表示

顧客業種別売上高（連結）

単位：百万円

	2018年2Q		2019年2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	3,440	13.5%	3,076	11.7%	▲363	▲10.6%
信託	2,013	7.9%	2,697	10.3%	+684	+34.0%
医薬	8,148	32.0%	7,094	27.0%	▲1,053	▲12.9%
食品	1,356	5.3%	1,434	5.5%	+78	+5.8%
製造	1,749	6.9%	2,097	8.0%	+347	+19.9%
サービス他	8,731	34.4%	9,849	37.5%	+1,117	+12.8%
合計	25,440	100.0%	26,251	100.0%	+810	+3.2%

※ 外部顧客への売上高を表示

セグメント別受注高・受注残高状況（連結）

受注高

単位：百万円

	2018年2Q	2019年2Q	前年同期比	
			金額	増減率
国内IT	14,747	17,234	+2,487	+16.9%
海外IT	5,503	6,517	+1,013	+18.4%
CRO	5,614	5,005	▲608	▲10.8%
合 計	25,865	28,757	+2,892	+11.2%

受注残高

	2018年2Q	2019年2Q	前年同期比	
			金額	増減率
国内IT	7,127	7,737	+609	+8.6%
海外IT	1,330	3,781	+2,450	+184.1%
CRO	7,643	6,928	▲714	▲9.3%
合 計	16,101	18,447	+2,346	+14.6%

※ 外部顧客への受注高、受注残高を表示

業種別受注高（連結）

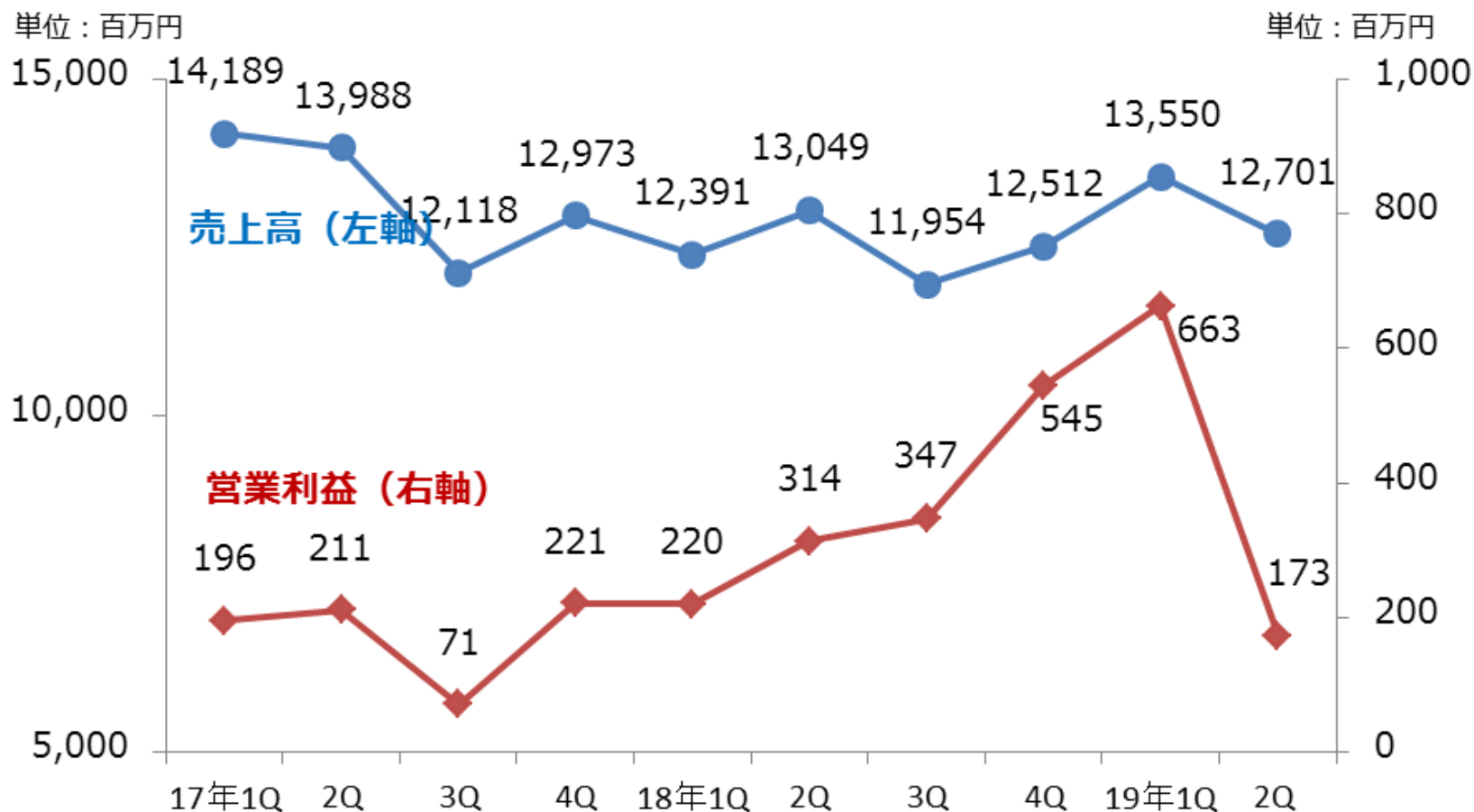
単位：百万円

	2018年2Q	2019年2Q	前年同期比	
			金額	増減率
金融	3,746	3,299	▲447	▲11.9%
信託	2,016	3,157	+1,140	+56.6%
医薬	8,038	8,215	+177	+2.2%
食品	1,578	1,775	+197	+12.5%
製造	1,744	2,117	+372	+21.4%
サービス他	8,740	10,191	+1,451	+16.6%
合 計	25,865	28,757	+2,892	+11.2%

※ 外部顧客への受注高を表示

Ⅱ．2019年度下期の見通しと 通期業績について

連結業績四半期推移



2019年度下期の見通しと取り組み

国内IT

- ・ 下期も顧客の需要を取り込み、堅調に推移する見通し
- ・ 将来コスト削減に向けた事業再検討等実施

海外IT

- ・ セグメント利益黒字化を目指す
- ・ インド中心に、収益確保に向けた事業構造改革を継続実施
- ・ 中国において、現地スタートアップへの投資を準備

CRO

- ・ 小規模案件を獲得しているものの、期初の想定以上に厳しい状況
- ・ コスト削減を推進するとともに、受注拡大へ注力

未来領域

- ・ DX獲得やコアICT領域拡大に向けたM&Aや提携を継続検討中
- ・ 事業提携先となり得るスタートアップへの出資継続

2019年度 通期業績予想（連結）

単位：百万円

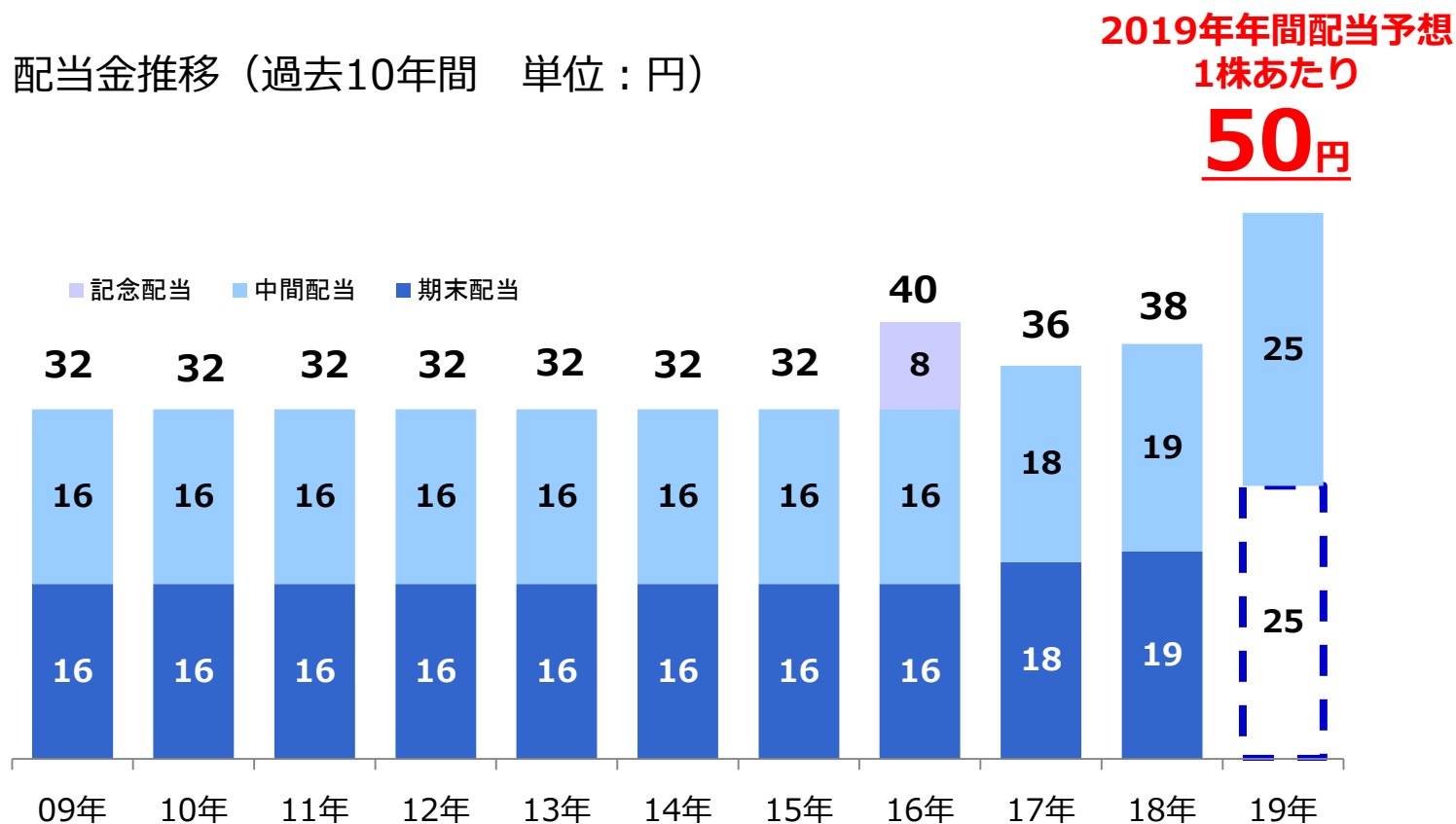
	2019年度 2Q実績	2019年度 通期予想	進捗率
売上高	26,251	52,000	50.5%
営業利益	837	2,000	41.9%
（対売上比）	3.2%	3.8%	
経常利益	810	1,900	42.7%
（対売上比）	3.1%	3.7%	
当期純利益	438	1,350	32.5%
（対売上比）	1.7%	2.6%	

- ・ 利益面で進捗が遅れているものの、業績予想据え置き

株主還元：配当

- ・ 中間配当は予定通り1株あたり25円
- ・ 期末配当予想も25円で通期で1株あたり50円配当予定

配当金推移（過去10年間 単位：円）

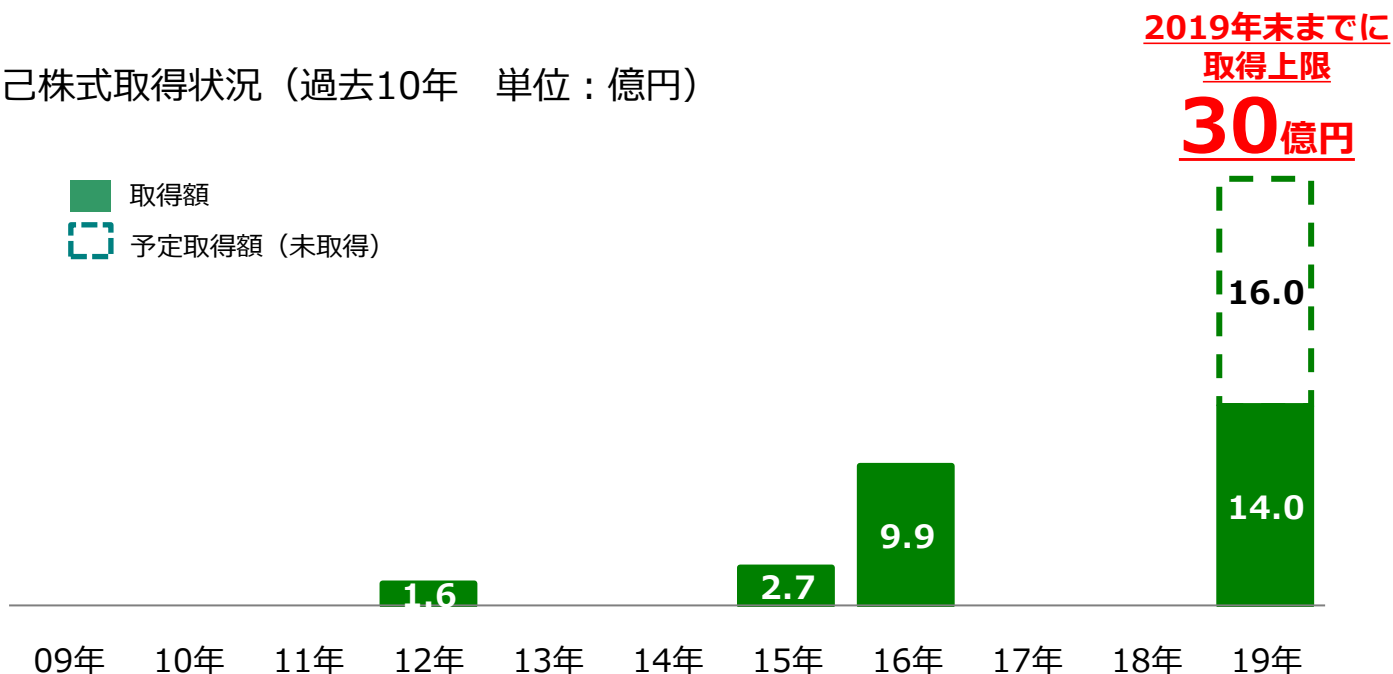


株主還元：自己株式取得進捗状況

- 取得金額ベースで約半分取得。
- 2019年12月末まで自己株式取得を進める予定

	取得上限 (2019年2月発表)	取得状況 (2019年7月末現在)	進捗率
金額	30億円	14億円	46.7%
株式数	300万株	93万株	31.1%

自己株式取得状況（過去10年 単位：億円）



ご参考： 主要ニュース

参考：上期主要ニュース(1/3)

2019/1/21	CACクロアと田辺三菱製薬が “QualityLead” で基本合意書を締結 CACクロアが2019年度より運用を開始する化合物共有ライブラリー事業（「QualityLead」）で、田辺三菱製薬㈱と参画に向けた契約の基本合意書を締結。QualityLeadは、製薬会社が個別に保有管理している化合物を、CACクロアが提供する設備およびプラットフォームに集約し一括管理を行うことで、製薬会社の化合物管理にかかる多額の設備投資や維持管理経費の削減を図るもの。化合物を共通に利用できる基盤システムとして、産産連携・産官学連携を加速させるとともに、All Japan（オールジャパン）創薬体制の強化と、日本発の革新的な医薬品開発支援を実現する。
2019/1/23	CAC、非接触で心拍数を測るソフトウェア「リズミル」の提供を開始 リズミルは「映像脈波抽出技術」を使った非接触型バイタルセンシングソフトウェア。東北大学を中核とする革新的イノベーションプロジェクト（COI 東北拠点）の活動から生まれた知財と、CACのIT技術を組み合わせ誕生。抽出された脈波信号から心拍数など、対象に触れることなくストレスフリーの測定が可能。今後は、解析データのCSV出力や個人識別、複数人の同時測定、iOS対応といった機能の追加を検討予定し、魅力的なアプリケーションやサービスを様々な業種の皆様と共に開発していく。
2019/2/26	CAC、rfxcel社と医薬品トレーサビリティ分野のパートナーシップ契約締結 ～ アジアでの医薬品トレーサビリティ協業を推進 ～ rfxcel社は、グローバルサプライチェーン全体でシリアルライズ（1つ1つの物に固有のシリアル番号を付すこと）されたデータのトラッキング情報を蓄積・共有するソリューションを米国市場やEU、ロシアなどの各国で、ライフサイエンス産業や食品業界に対し提供。近年拡大する偽造医薬品対策の検討にあたりrfxcel社との協業を推進し、日本市場における医薬品トレーサビリティ分野の法規制の変化に対応する為の活動を展開予定。また、中国市場への展開も検討していく。

参考：上期主要ニュース(2/3)

2019/2/28	CACクロア「化合物共有ライブラリー事業」に塩野義製薬が参画 CACクロアが展開する「化合物共有ライブラリー事業」（「QualityLead」）において、塩野義製薬(株)の化合物ライブラリーの管理、およびプレート作製業務の委託について契約を締結。 塩野義製薬(株)の所有する化合物ライブラリーの管理およびHTS（標的分子との親和性が高い化合物（ヒット化合物）を選抜する、創薬の起点となる手段）を実施するためのプレート作製業務をCACクロアが代行する。
2019/3/8	CAC、「長崎BPOセンター」立地協定調印式を実施 CACは新拠点「長崎BPOセンター」の立地協定調印式を、長崎県および長崎市と実施。同拠点は「長崎BizPORT」に開設し、2019年7月から業務を開始予定。BPO業務拡大・サービス強化とともに、雇用創出を通じた地域社会活性化と発展に貢献。
2019/3/14	CACとエンタッチ、製薬企業向け営業支援ソリューションで協業開始 CACは、医師と製薬企業をオンラインでつなぐコミュニケーションプラットフォームや遠隔情報提供サービスを提供しているエンタッチ(株)と、製薬企業向け営業支援の分野で協業。CACの提供する営業支援システム(MR-Navi)をはじめとした統合営業支援ソリューションのマーケティング及び営業で協力する。

参考：上期主要ニュース(3/3)

2019/6/6	CACとCCN、乳幼児を対象とした見守りサービスの共同開発契約を締結 ～ 赤ちゃんのお昼寝をデジタル技術で見守り ～ (株)シーシー・ネットワークは、カメラ映像をベースにしたIoT技術による乳幼児の午睡チェックを支援するサービス「みまも」を提供。今回の契約は、「みまも」にCACの映像脈波抽出技術を用いた非接触バイタルセンシングソフトウェア「リズミル」の機能を付加し、新たなサービスを共同開発するもの。乳幼児の午睡を見守る保育士の負担をサポートすると同時に、保護者への安心を提供する。
2019/6/28	QualityLead構想の早期実現に向けて CACクロア と アクセリード が 業務提携の検討を開始 CACクロアと、創薬支援のAxcelead Drug Discovery Partners(株)（「アクセリード」）は、化合物共有ライブラリー事業「QualityLead」について、業務提携の検討を開始した。両社の持つリソースとノウハウを共有し、「QualityLead」構想の早期実現を目指すもの。
2019/7/30	CAC Holdings、日本企業初となる本格常設ボッチャコートを社屋に設置 CAC Holdingsは、本社社屋 1 階に来客対応エリアを兼ねたボッチャコートを設置。コートは国際大会でも活用される床材を用いた公式サイズ。今後はボッチャアスリート、地域の方々やお客様への開放を行い、ボッチャの普及を一層推進していく。

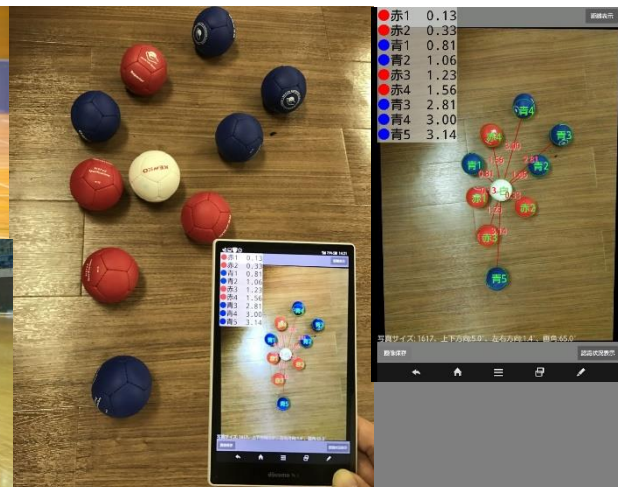


株式会社 CAC Holdings

経営企画部 Enterprise Value Upグループ

TEL : 03-6667-8010 E-mail : prir@cac.co.jp

<https://www.cac-holdings.com/>



CACグループは、障害者スポーツ「ボッチャ」の普及・発展をお手伝いしています